

宇宙で 誤報！ - 西日本防災システム

2013 02 28

米航空宇宙局(NASA)が伝えたところによりますと、国際宇宙ステーション(ISS)で2月28日、火災警報器が作動しましたが、誤作動だったようです。

NASAの情報によりますと、火災警報器を作動させたのは、米国製の実験用モジュール「デスティニー」にある冷凍冷蔵庫「メルリン2」のセンサーのようです。NASAのクリス・ハドフィールド宇宙飛行士が「メルリン2」を検査しましたが、火災の兆候は発見されなかったそうです。同時に、火災報知器が作動した原因が解明されるまで、「メルリン2」の電源は一時的にオフにされたそうです。

NASAが伝えたところによりますと、今回の事故は国際宇宙ステーション(ISS)に滞在するクルーたちの活動に影響は与えなかったそうです。クルーたちは28日、商業輸送機「ドラゴン」の到着に向けた作業を継続したそうです。「ドラゴン」は3月1日、フロリダ州ケープ・カナベラルの空軍基地から打ち上げられる予定だそうです。

宇宙で働く 火災警報器！ 頑張れーい！



西日本防災システム

NISHINOHON BOHSAI SYSTEM Co., Ltd

<http://www.nbs119.co.jp/>



弊社top pageへ

